

○平成28年6月10日 環境建設委員会の第1回現地視察を行いました。

県議会の各委員会では、閉会中の委員会活動として、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

環境建設委員会では、今年度のテーマを「瀬戸内海国立公園の魅力向上に向けた取り組みについて」、「河川砂防行政について」及び「県営水道事業について」と定めており、今回3カ所の現地視察を行いました。

まず、瀬戸内海国立公園内の白鳥松原園地（東かがわ市）を視察し、国の交付金を活用して県が実施している休憩所や公衆トイレ等の施設整備事業や、国立公園の魅力向上を図るため県単独事業として実施したウォーク行事等のソフト事業の概要について説明を受け、質疑を行いました。



次に、番屋川（東かがわ市）における総合流域防災河川事業の工事箇所を視察し、事業概要や全体計画の概要について説明を受け、質疑を行いました。



最後に、東部浄水系田面調整池（さぬき市）において、施設・設備の概要や水道用水供給事業について説明を受け、質疑を行いました。

